

令和8年5月1日

各都道府県高体連バドミントン専門部委員長 様

(公財) 全国高体連バドミントン専門部  
部 長 菊 地 亨

BWF 総会におけるスコアリングシステム変更に伴う(公財)日本バドミントン協会の対応と(公財)全国高体連バドミントン専門部の対応について(連絡)このことについて、2026年5月1日付文書によりBAJとしての対応の連絡がありました。

これを受け、当専門部では15点×3ゲーム制について、下記のとおり対応することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 全国大会での採用

令和8年度全国高校総体(和歌山大会)より採用する。

2. 採用種目 男女学校対抗

男女個人対抗単複

※BAJの対応では全日本総合選手権への出場権が獲得できる1種大会の当該種目が該当しますが、混乱を避けるため学校対抗戦においても採用いたします。

3. ルール上の取り扱い

「BAJルールブック2026」p28 - p29記載の「代替スコアリングシステム 2. 1ゲーム15点で2ゲーム先取の3ゲームマッチ」を適用する。なお、延長ゲームについては最長21点まで。

4. その他

インターハイ前に開催される各ブロック大会は15点×3ゲーム制での実施をお願いいたします。

各都道府県大会は都道府県協会と連携を取りながらそれぞれの事情に合わせて判断くださいますようお願いいたします。

【本件の担当】

(公財) 全国高体連バドミントン専門部

副 部 長 新 井 研 二

長野県下諏訪向陽高等学校

〒393-0025 長野県諏訪郡下諏訪町 7401

Tel: 0266-28-7594 (体育科)

Fax: 0266-26-1021

メール: [arai-ken@m.nagano-c.ed.jp](mailto:arai-ken@m.nagano-c.ed.jp)